

令和6年第1回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

(3月7日、8日、12日、13日、19日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。

議案第22号 令和6年度かすみがうら市一般会計予算

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額を、それぞれ176億6000万円とするものです。

Q つちうらMaaS推進協議会で実証実験していたグリーンスローモビリティの運行に変更はあるのか。

A 土浦、かすみがうらの両地区を1台で運行しておりましたが、令和6年度はルートを再検討し、台数を増やし2台で神立駅周辺を運行する予定となっております。

Q デマンド型乗合タクシーを土浦協同病院まで乗り入れることについて、どこまで準備が進んでいるのか。

A デマンド型乗合タクシー利用者の増加及び生活利便性の向上を図るために、市民の移動ニーズがある土浦協同病院への地区替えを含めた運行体制の見直しを検討するものです。これから関係機関との協議を踏まえて、令和6年度にどのくらいの需要があるのか把握をするための実証実験を実施いたしまして、令和7年4月からの本格運行を目指して取り組んでまいります。

Q 防災行政無線連携防災アプリ導入業務委託等の施策によって、防災無線の屋外子局を維持管理する必要性は下がるのではないかと。

A 防災無線屋外子局で流れる音声情報を、市民が持っているスマートフォンで聞くことができるアプリケーションを導入するものですが、スマートフォンを持っていない方や利用が難しい方もいることから、現段階では防災無線をベースにして、その機能を補助、補填するものを広げていこうと考えております。防災士連絡協議会等、市民の方からのご意見を踏まえて検討してまいります。

Q 子どもの医療保険応援金の概要は。

A 18歳以下の子どもを持つ世帯を対象に、子どもに係る国民健康保険と国民健康保険組合が定める均等割相当額を、子育て支援の応援金として支給するものです。均等割は子どもの人数に比例し負担が生じることから、より子育てしやすい環境づくりを目的とした制度になります。これにより入院・外来分の自己負担金と合わせて、18歳以下の子どもについては実質的に医療費の完全無料化になるものと考えております。

議案第26号 令和6年度かすみがうら市水道事業会計予算

Q ますます老朽化の一途を辿っている管路の更新計画を早急に立てるべきではないかと。

A 本市の管路総延長424kmのうち58kmが、布設から40年が経過した老朽管となっておりますが、40年が経過したからといって直ちに漏水するということではなく、危険性を見極めて利用しております。現在、送水元である浄水場の更新工事を優先して行っておりまして、浄水場更新の完了見込みが立ち次第、管路の更新計画をなるべく早く策定したいと考えております。